

2023年秋年末闘争・組織拡大

CTGの建交労道本部闘争速報

2023年10月10日/第3号

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL011-711-7377
FAX011-711-7388
e-mail/ctg.hokkaido@gmail.com

4年ぶりに「みんな集まれ観楓会」 北海道鉄道本部

北海道鉄道本部は9月28日に、コロナ禍により3年間開催を見合わせていた「みんな集まれ観楓会」を小樽市・朝里川温泉ホテル武蔵亭でおこないました。観楓会には26名の仲間たちが集まり、遠くは旭川や室蘭からも元気な顔を見せてくれました。思い出話しや各支部の仲間たちの近況を語り合い、この日のパークゴルフ交流大会の表彰式、恒例のビンゴ大会ではたくさんの景品を準備して楽しいひと時を盛り上げました。お開きを前に参加者全員がステージに集合し記念写真を撮影して2時間の楽しい宴を終えました。午後に小樽グリーンパークゴルフ場でおこなわれたパークゴルフ交流大会には、小雨が降る中14名が参加し、優勝は苗穂支部・最上さんがリベンジをはたして新米「ゆめぴりか」をゲット、準優勝は苗穂支部・鈴木さん、3位にも苗穂支部・山崎さんとなり苗穂支部の独壇場でした。また、「ラッキー7賞」を苗穂支部・梅木さんが春の交流大会に続いて獲得し、最悪のコンディションの中でホールインワンが4名も出るなど、鉄道本部組合員の運の強さを実感させました。最高齢の滝川支部・畠山さんは春の交流大会に続いて棄権することなく全てのホールを回り、ホールインワン賞も獲得する元気な姿を見せてくれました。

なくせじん肺北海道キャラバン 出発集会と道庁要請

2023年「なくせじん肺北海道キャラバン」の出発集会が10月4日に開かれました。出発集会では北海道じん肺訴訟（石炭）について増谷康博弁護士が、北海道建設アスベスト訴訟について川島英雄弁護士が、トンネルじん肺根絶北海道訴訟について加藤丈晴弁護士がそれぞれ訴訟の現状について報告しました。このあと「なくせじん肺北海道会議」の総会を開き、それぞれの訴訟のとりくみと今年のキャラバン行動について方針を確認しました。

午後からはキャラバンの最初の行動として道庁に要請しました。道庁からは経済部・建設部・環境生活部の担当主査などが対応し、トンネルじん肺の防止対策、アスベスト台帳、アスベスト対策の補助制度、アスベストアナライザーの配置、アスベスト粉じんのばく露防止対策、建設アスベスト補償基金、建設アスベスト給付金の対処範囲の拡大などについて回答を受けました。この中で、現在施工中の道発注のトンネル工事が1件（小樽市）で、現場は2交代で拘束9時間・実働8時間、実際の労働時間は7時間～9時間半であることが明らかにされ、建交労道本部の森国委員長は8時間労働の厳守を求めました。

アスベストアナライザーの配置については相変わらず否定的で、それに代わる対策として検査キットを各振興局に配布したとのことでしたが実際に活用したのは全道で1件だけです。検査キットは1箱（20セット）1万円なのでアスベスト被害防止対策の道の予算はわずか14万円です。しかも、アスベストアナライザーの精度に問題があるといいながら、この検査キットの精度はもっと低いのです。

「建設アスベスト補償基金の創設」や「建設アスベスト給付金の対象範囲の拡大」などについては「国会に請願が出されているのでその動向を注視する」という回答で、本気でアスベストの被害救済にとりくむ姿勢ではなく、知事の道民の健康を守る姿勢が問われることを質しました。